

第16号の現代文勉強法に続き、今回は古典の勉強法です。

### 【古文編】

#### ①語彙力・古典常識を身につける

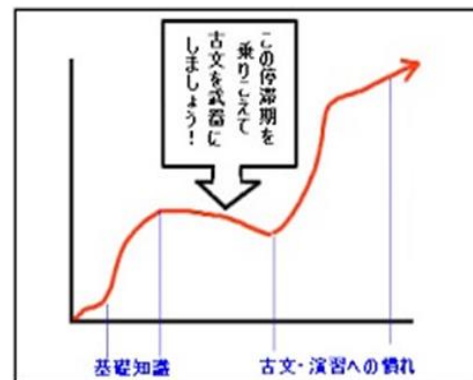
まずは、古文単語を『合格古文単語380』などで覚えましょう。『合格古文単語380』は1年次から定期考査の範囲に入れ、現在は2周目ですが、まだ完璧ではないはず。定期考査・模試、その他の問題演習で時々フィードバックして確認し、知識不足に気づいたらすぐに見直すというように、繰り返して覚えて定着させましょう。また、この単語帳には古典の背景や古典常識、文学史(巻末付録p248～)も載っているので、しっかり読み込めば、古典常識の知識も身につけてきます。模試や問題集などで読解のキーになる語はほとんど出ているので、わからなかった単語を復習する時にも役立ててください。

#### ②文法力を身につける

文法テキストを活用し、特に助動詞、助詞、敬語を完璧にマスターしましょう。「完璧にマスター」とは、文法事項を覚えた上でそれを使って解釈できるようになるということです。1年次から予習で、品詞分解・文法説明をし、それに沿って訳す練習を繰り返してきたことで、力がついてきているはず。文法知識の不足を感じている人は、足りない部分を地道に補強していきましょう。また、『体系古典文法』p150～154「口語訳に注意したい重要語句」、p155～167「まぎらわしい語の識別表」には読解力向上のキーになる重要事項がまとまっているので、ぜひ活用してください。

#### ③予習や問題演習&復習で、定着を図る

古文は、新しく作ることができず範囲が限られるので、授業や講習などで扱った教材や文法事項、単語などが本番の入試で出題された例が多々あります。だからこそ、普段からしっかり予習をし、問題演習などの復習もして理解し定着を図ることが大切です。模試の問題も受験後の復習が非常に大切なのは言うまでもありません。余裕があったら、現代語に訳してある有名古典作品(角川ソフィア文庫「ビギナーズクラシック」シリーズなど)を読み、あらずじだけでも知っている、作品に関する基礎知識や古典常識が自然に身につく、読解力が向上しますよ。有名な作品は漫画化されたものもあるので、読みやすいものを手に取っていきましょう。



### 【漢文編】

#### ①基本は「句法」「語彙力」の習得

漢文も基本的には古文と同様、「句法」「語彙力」が鍵を握ります。まずは『漢文必携』を使って、句法・語彙をマスターしてください。句法は、特に否定・受身・使役・反語・疑問について、語順と現代語訳を理解すること。語彙としては、接続詞・副詞(再読文字含む)を徹底的に。『漢文必携』のp89～151の「語彙編」は何回も繰り返して覚えましょう。また、p153～156の「同訓異字のまとめ」、p200～205の「漢文常識語」はもちろん、p186～199「資料編」は背景の理解に役立ちます。練習問題や「チェックノート」も活用しましょう!

#### ②文の構造を意識する

現代文・古文と同じく、漢文もいくつかの文が繋がって文章となっているので、一文一文を意識して読むことが必要です。特に意識すべきは、主語と述語です。主語が省略されている場合、原則は前文と同じですが、例外の場合も述語部分をしっかり押さえることで主語を把握できます。「誰(何)がどうした」という文の骨格の把握は全体の読解につながるので、『漢文必携』「基礎編」(特にp22～27の「返読文字」「漢文の構造」など)をよく復習し、p158～166の「読解編」で構文を理解すると、構造が意識でき、白文でも読めるようになります。

三  
月  
廿  
五  
日  
戊  
辰  
殿  
東  
廂  
請  
雨  
同  
舉  
對  
曰  
臣  
聞  
陰  
光  
武  
之  
法  
而  
循  
亡  
以  
來  
彌  
歷  
年  
歲  
未  
無  
益  
也

古文漢文ともに、基礎知識をインプットしつつ問題演習等でアウトプットして、できなかった部分は基本に戻って確認することで、入試にも役立つ実践的な読解力を身につけていきましょう。

## ● 2025 年度入試 首都圏国公立大 主な変更点

※2024 年 5 月中旬までに各大学が公表した情報を元に作成。詳細は各大学 HP より確認してください。

### 埼玉大

#### 経済（国際プログラム枠）＜前＞：科目変更

24年度：共通テストの利用教科 英語・国語必須、地歴公民から 1

25年度：共通テストの利用教科 英語・国語必須、数学・地歴公民から 1 → 数学選択可能に  
個別学力検査 小論文から英語に変更

- 共通テストで数学選択可能に
- 個別学力検査は小論文から英語に変更

#### 理・物理＜前＞：選抜方式

24年度：総合問題

25年度：－

- 個別試験廃止

### 東京学芸大

#### 初等（学校心理・環境教育）、中等（情報・音楽）、特別支援＜後＞：選抜方式

24年度：実施

25年度：－

- 後期日程廃止

#### 初等（理科）、中等（理科）＜後＞：募集人員

24年度：初等・理科（募集25名）、中等・理科（募集15名）

25年度：初等・理科（募集10名）、中等・理科（募集5名）

- 後期日程の募集人員減

### 東京工業大

#### 大学名変更

24年度：東京工業大

25年度：東京科学大

- 東京医科歯科大と統合し、東京科学大に変更

#### 理＜総合・学校推薦＞：選抜方式

24年度：学校推薦実施

25年度：学校推薦廃止→総合型で一般枠・女子枠の導入

- 学校推薦の廃止、総合型（一般・女子枠）の導入

### 千葉大

#### 情報・データサイエンス＜総合＞：選抜方式

24年度：総合型を実施（定員10名）

25年度：総合型の廃止

学校推薦型（定員30名、うち15名女子枠）の導入

※前期募集は90名→70名に減少

- 総合型を廃止し学校推薦型へ、女子枠を新規実施

### 横浜国立大

#### 理工（化学・生命系）：募集区分

24年度：プログラム別

25年度：化学・生命系学科一括募集

- 募集区分の変更

#### 都市科学（環境リスク共生）＜前＞：科目変更

24年度：英語・数学・理科

25年度：英語・数学 → 理科なし

※共通テストでの理科配点200→650点に変更。情報追加（配点100点）

共通テスト：個別試験 = 1450 : 750

- 個別試験の理科廃止

### 東京都立大

#### 法・経済経営・都市環境・理（化学・生命科学）・システムデザイン（電気電子工）＜前＞：科目変更

24年度：個別学力検査 英語なし

25年度：個別学力検査 英語あり

- 英語が課される

#### 都市環境（観光・都市政策以外）・健康福祉・システムデザイン（電気電子工・機械システム以外）＜前・後＞：選抜方式

24年度：－

25年度：外部英語検定試験の利用 実施あり

- 外部英語検定試験の導入

## 東京都立大

**法・経済経営・都市環境・理（化学・生命科学）・システムデザイン（電気電子工）〈前〉：科目変更**

24年度：個別学力検査 英語なし

25年度：個別学力検査 英語あり

●英語が課される

**都市環境（観光・都市政策以外）・健康福祉・システムデザイン（電気電子工・機械システム以外）〈前・後〉：選抜方式**

24年度：－

25年度：外部英語検定試験の利用 実施あり

●外部英語検定試験の導入

## 横浜市立大

**医（看護）〈前〉：募集区分**

24年度：1方式のみ

25年度：A方式・6科目（定員40名）、B方式・3科目（定員15名）※新設

●B方式の新設